

成年  
コミック

SHIN  
YU  
SHA



学園  
まり  
あ

Lesson

# 学園 まり あ

あうら  
聖児

あうら聖児

SHINYUSHA  
COMICS

成年  
コミック

晋遊舎



Welcome  
to our  
school,  
MARIA!

成年  
コミック

SHIN  
YU  
SHA

Lesson

# 学園 まりあ



学園まりあ

あうら聖児

あうら聖児

SHINYUSHA  
COMICS

成年  
コミック

晋遊舎



MARIA  Academy  
SEIJI AURA



学園まりあ 7

27 夏のアティテュード

週末のヒメゴト 43

61 ピーチトラップ

これから・それから 77

95 南国パラダイス#1

南国パラダイス#2 113

129 南国パラダイス#3

南国パラダイス#4 147

165 あとがき

学園まりあ



教師を目指して  
はや10年……

ついにこの日が  
きたんだわっ♡

しかも  
名門と名高い  
全寮制の  
若ノ葉学園へ!!

(男子校つていうのが  
ちよつと心配だけど)

ああっ  
神様……

今日は早坂<sup>はやさか</sup>まりあ  
人生で最良の日  
ですっ♡





ところで…  
この学園の方針を  
記したワシの著書は  
読んでもらえたかね？

は…  
はいっ

『教師は生徒たちの  
母であり姉であり  
いたわりと慈しみの心を  
持った恋人でもある』  
—という言葉には  
とても感動しました

また…  
『教師は常に  
生徒に奉仕すべき  
存在だ』という  
言葉にも！！

私も今日から  
その精神で  
がんばりますっ



そうか…

それは  
すばらしい



それにしても  
見事ですな

え？



まりあ先生の  
その豊かな  
胸のことですよ

！

そ…  
そんな

大きすぎて  
悩みのタネ  
なんです…

ほっほっほっ

いやなに恥ずかし  
がることは  
ありませんぞ



なにしろ  
ワシがまりあ先生を  
選んだのは  
まさにその点  
なんじゃから…

え？

何か  
言いました？

いやいや  
何も…

ここが  
まりあ先生が  
うけもつクラスです

2-B

お姉さんの  
はるか先生の授業中  
ですがとりあえず  
生徒にあいさつでも…



ああ…

今日から本当に  
教師としての  
第一歩が  
はじまるのねっ

姉さんと同じ  
憧れの教師に  
なるんだわっ♡

し…  
失礼しますっ

カミ



ああん♡  
きてえ...♡

あひいん♡

ずいりる...

先生の膣で  
いつてええ...♡

ずいりる...

ぬ...  
ぬ...  
ぬ...

ぬ...  
ほっほ♡

はるか先生の  
授業はあいかわらず  
活気があるのう...

ほっほ♡

あつ♡

ぬ!!

なっ...

ゆえ...





この学園においては  
教師は生徒に  
奉仕する  
存在……

つまり…  
思春期の生徒たちの  
たぎるような欲望の  
処理も教師としての  
立派なつとめの一つ  
じゃ!!



驚くことは  
ありませんぞ  
これこそが  
我が校の理想的  
授業なのじゃ

なっ  
……

んんん



そっ…  
そんなこと  
できませんっ!!

だいたい  
こんなことを  
白屋堂々と  
するなんて……



姉さん…  
一体何を……



あ……



うふふ…  
固いこと  
言わないの♡

あ…!!



校長先生：  
さっそくまりあの  
歓迎会をしても  
よろしいかしら？

うむ！！

ぞんぶんに  
ヤリたまえ♡

よいしょ……

あつ  
何するの  
姉さん……



いつ……

いやああん



こ...こんな

憧れの  
教師生活の  
一日目なのに  
こんな...

やっ...  
ダメっ...

むにゃ

すっげー♡♡  
これがまりあ先生の  
胸かあ...♡

こんな巨乳の  
先生に担任して  
もらえるなんて  
幸せっス!!



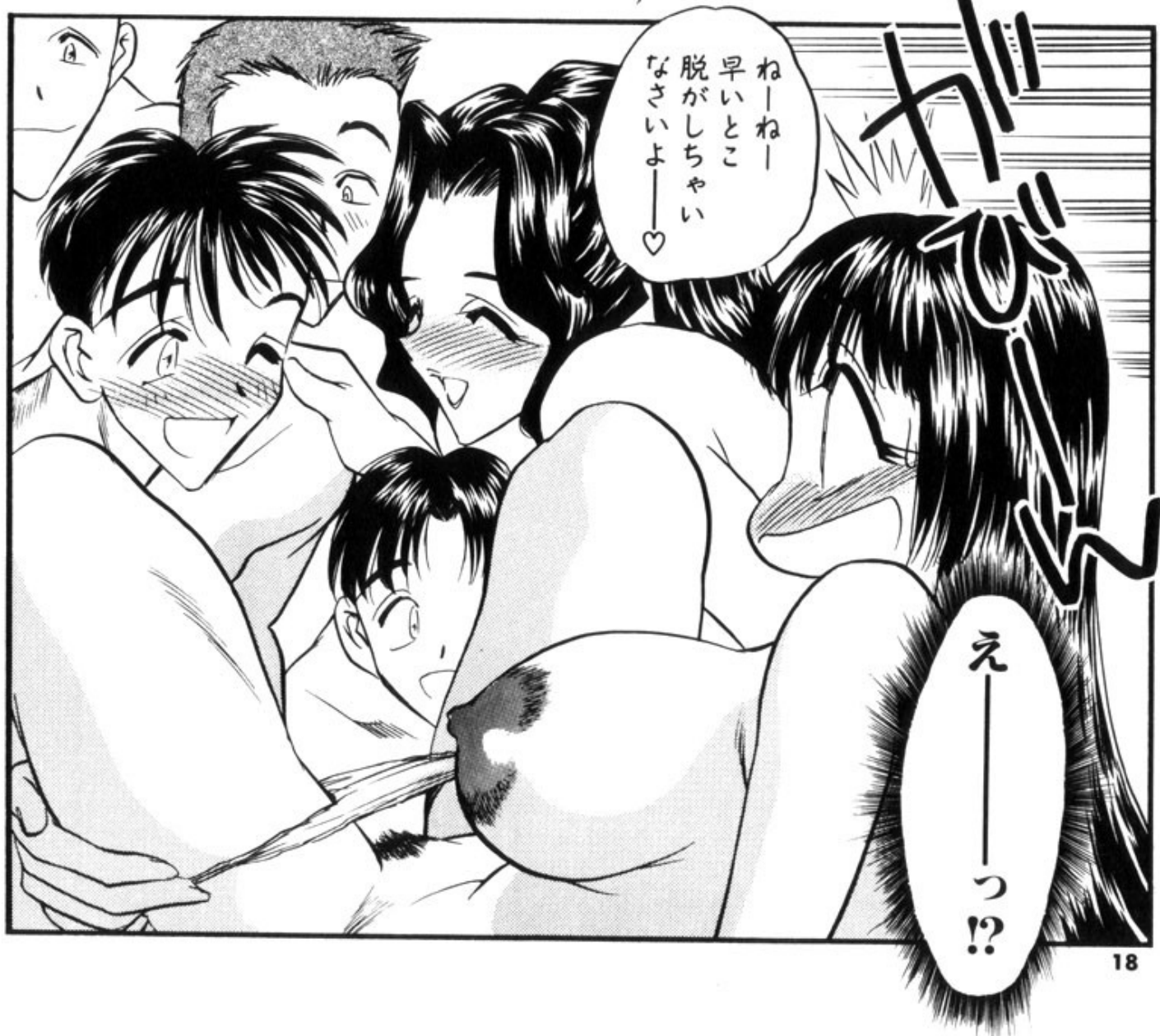
やっ...  
やっ...!!

うほっ  
たまんね...

よしみんなであ  
まりあ先生に  
こすりつけちまおう

おーっ

むにゃ



す...

うお

っ

たまんね

オ...  
みんな  
なめてあげて♡

ダ...  
ダメえ.....

はー♡

なっ

体中  
敏感になつてるのに  
これ以上されたら  
.....

かあ

あっ…あっ…  
そんなんっ…

ダメええ

うはっ

姉妹だけあって  
よく似てるよ

だいぶほぐれて  
きてるな…

いただきっ♡

ああんっ…

っあああっ…

ほら…もう  
ひくついて  
きてるじゃない

今度は  
まりあが

クラスのみんなに  
奉仕しなくちゃ

はい

姉さん……

あぁっ…  
頭がボーっとして  
何も考えられない  
……

き今日から  
みなさんの担任になる  
早坂まりあ…です…

どうか…みんなで  
まりあを可愛がって  
くださ…い……





じゃあ  
一番手はオレが  
いきまーす

あつ  
ズルいぞ  
青木!!

これから  
よろしくね♡

まりあ先生♡



こんな時に  
やさしくキスして  
くるなんて……



っあ

うわっ  
川さま♡

うわっ  
だっ  
だっ

ひいん♡

うわ!!  
だ!!  
だ!!



っあ

くうう...

おうっ...

ああんっ

あ

あ



あっ

ちよっ...  
そんなっ  
あっ...



はーい♡  
次いきま  
す♡

くた

これが  
理想の教育  
なの…？

っは…

ああっ  
赴任一日目から  
こんなコトに  
なるなんて

ああっ…  
そんなっ

あの真面目で  
教育熱心な姉さんは  
どこにいったの？  
しまったの？

ああん

ダメエ……

もう何も  
考えられない

っあ

もう……どうなっても  
いい……  
もつとまりあを  
可愛がってええ

あひっ

ひあ♡

あああ……ん♡



はっ  
はあ

はっ…

っは…

はあ…っ



私…教師一日目から  
こんなコトになつてしまつて  
これからやつていけるか  
とても不安です……

でも…でも  
もしかしたら  
……



ホッホッホ  
どうやら資質は  
充分のようじゃ  
これは思ったより  
早く学園になれて  
くれそうじゃの

ええ 私の  
妹ですもの

# 夏のアティテュード



夏は  
キレイだ

自分の  
体力のなさを  
いつも  
思い知らされる

こーちゃんも  
アホやねエ…

なんで  
あんな流れの  
急な所で泳いどったん？

ごめんね……  
ボクのせいで  
留守番になって……

なんね

男の子は  
そぎゃんこと  
気にせんでよかとよ

ボクは  
この夏休み…  
母方の田舎に  
遊びにきていた



それにしても  
こーちゃんも  
大きゆうなったねエ

背ば  
伸びよる時期  
なんか

三つ年上の  
遙ねーちゃん…  
たいして年も  
ちがわなはずなのに  
大人びて見える

……  
アロ……



?

からだ  
身体の方は  
もっと大人だ  
……

チラッ

それにしても…  
なんで  
こーちゃんば  
あぎゃん流れの急な  
トコで泳ぎよつと？

地元のコでも  
あげなトコでは  
泳ぎきらんとよ？

だって…  
遙ねーちゃんが  
……

？



ボクのコト  
ひ弱だとか  
バカにして……

たくましい男の方が  
好きとか言うから……



ゴメンゴメン……  
こーちゃんが  
そぎゃん気にすつとは  
思わなかったとよ

そ…そう……

な…  
ならいいんだ……

……

バカやねエ……  
そんなコトで  
好きとかキライとかの  
関係なか



ねエ……  
こーちゃん……

女の子の裸ば  
見よったこと  
ある？

えっ？

見せたげよっか  
♡

……  
ウチの裸  
……

あ……  
いや……

その……

かあ  
あ

えいつ♡

んんん





どお?  
ウチの裸は?

さわっても  
良かよ



あ……



あ……

その時は  
頭の中が  
ぐるぐる回って  
いるように……

ヒキ……

ヒキ……

ヒキ……

どお?  
ウチの胸は……

あ……

すごく……  
やわらかい……

あ…… あ……

あ……ん

あ……

あ……

そう……

やさしく  
包み込むように……ね

あ……

あ……

あ……

吸っても  
よかよ……

ボクは  
無我夢中で  
遙ねーちゃんの胸を  
むさぼった……

あ……

んっ……

う……  
うん……



じゃあ…ウチが  
男の子から  
男にしちやろう  
もんね♡

少し湿っぽい  
日本家屋の中で…  
遙ねーちゃんの  
声だけが耳に響いた  
……

ボクは  
声もなく  
ただうなづいていた  
……

ん  
……



良かよ…  
そのまま  
入ってきて…

ん…



そう…  
そこ…



んっ…

っく…

あ…

ボクは  
夢中で腰を  
動かした

遙ねーちゃんは  
それまでと  
うってかわって  
なんだか  
しおらしく…

時々  
ドキツとするような  
女っぽい声を  
あげた

っあ…

あっ…

んっ

あっ…

あっ…

ふうん…

んふっ

あっ

ふっ…



っあ……

あっ

っあ……

良かよ……

あっ……

こーちゃ……ん……



こーちゃ……

あっ……う

っは……

ああ……っ



くあっ…

っあ…

め!

ああ

め!

め!

あ

はあっ

遥ねーちゃん  
……ボク……もっ

良かよ  
こーちゃん…

あ……

きっ…

め!





あ……  
あの時の  
パンツ……

あの日——  
どうして遙ねーちゃん  
ボクとHしたのか  
……

ふう……

うわさで……  
遠距離恋愛していた  
彼と別れたばかり  
だと知ったけれど……

あの日の  
遙ねーちゃんは  
ボクにとっての  
一生の宿題になるの  
かもしれない……

つ——か  
その前に  
ホンモノの宿題を  
やらなきゃね

※夏のアティテュード／おわり

週末のピキート



母を亡くして以来  
父と娘…  
2人きりの  
平凡な生活……

でも週末になると  
2人の関係は  
一変します…  
なぜなら……

お父さん……

ただいま  
帰りました……

ああ……お帰り  
美優……

雨で濡れただろう…

風呂が沸いてるから  
早く入りなさい

ハ  
ア  
ア



は……はい……  
お父さん……

ああ……  
せっかくだから  
私も一緒に  
入ろうかな……



はい……

は……



そう……  
週末になると  
父は……

私を  
一人の娘としてではなく  
性欲の対象として  
見るようになったのです

成長期が  
始まった頃から  
膨らみ続けた  
私の胸……

ふふ……  
また大きくなったね  
女優の胸は……

週末ごとに  
繰り返しされる  
この愛撫によって  
……

んっ……

あ……

むに

むに

むに

むに

私の胸は  
信じられないくらい  
いやらしい形に  
変形していきました

T2300

ふふ……

まったく  
いやらしい胸だ  
……

同級生の男に  
もませたりしたコトは  
あるかい？

い……いや……

そ…そんなコト  
したコト  
ありません……

週末の父は  
いつもの厳格な父とは  
まるで別人です

たろい

たろん

たひん

いやらしいことを  
ききながら  
私の胸を徹底的に  
撚り続けるんです

きっと…みんな  
想像しているよ  
……

美優のこの  
いやらしい胸で  
パイズリさせるところを

たろん

たろん

胸の次は…  
もちろん下も  
です

しかも  
まだシャワーも  
浴びていない所を  
……

あっ……

むに……

ど

すはー

は

すー

フフ…  
ニオイが  
キツイな……

待ってなさい  
今…私の舌で  
キレイにして  
あげるから

も…もう  
許して……

やっ……

ぷる

ぷる

父は私の肉襲を  
執拗に  
なめ回します

その間…私は  
足を閉じるどころか  
身動きひとつしては  
いけないんです

おいしいよ  
美優……

ふふ……

ぬる

いくら  
なめとつても  
奥から  
あふれてくる

たぶ……

たぶ……

たぶ……

やっ……

お父さん  
だめえ……

これ以上  
されたら  
出ちゃう……

出ちゃうう……

何がだい？  
美優？

あっ……

いや……



ああ……っ……



美優の  
おもらしで顔が  
汚れてしまったよ

ふふ……



はい……

これで  
終わりでは  
ないんです……

そう……



これは  
おしおきを  
しなくては  
いけないな……

寝室で  
待ってるからね  
……

あ…着替えは  
そこに用意して  
おいたからね…

はい……

そこにあつたのは  
一週間前に  
洗濯カゴに  
入れておいたはずの  
体操服とブルマ  
でした……

しかも……

そんな……

!!

恥ずかしいまでに  
汚れている  
パンティまで……

それらは  
洗濯されることなく  
私の汗で  
汚れたままに  
なっていました

そう…  
これが父の  
趣味なんです……



でも  
幼い頃に  
母を亡くし

厳格な父に  
育てられた  
私にとつて  
父の命令は  
絶対です……



たとえ  
それがどんな  
命令でも……

……



失礼します……

ふふ……  
よく似合っているよ

美優……







そういえば  
さっきの  
おもしろい反省が  
まだだったな……

さ……  
ちゃんと  
言ってみなさい

は……



み……美優は  
お父さんの顔に  
粗相をした  
いけない娘です……

どうかこの  
いけない娘に  
お……おしおきを  
して下さい……



ああ……  
本当に美優は  
いけない娘だ……

今夜は  
徹底的に  
おしおき  
しなくてはな……



ああ…  
美優のココは  
本当に  
いやらしいな……

んっ  
ぬ  
ぬ  
ぬ

あっ……  
あ……



お父さんのモノを  
自分から  
くわえ込んで  
くるよ

んっ……  
っあ……  
やあ……

んっ……

ふあ……

た=ぶ……  
た=ぶ……



おっと  
いけない……

美優の胸も  
可愛がって  
あげなくてはね  
……

お父さん……

やっ……

やあ……

ムムム

ムムム



どうだい？  
どんどん  
刺激して  
もっともっと  
大きくして  
あげるからね

あっ……

やあ……

ひあっ……

むむむ

ムムム

ムムム

ああ…  
気持ちいいよ  
美優…

このまま  
美優の膣に  
ぶちまけたく  
なってしまおうよ

んっ…

あっ

だ…だめえ…

膣ながは  
許して…

おなか…

おなかに出してえ  
…

んっ…

たぶ…



ああんっ…

びびん

びびん

びびん

ふふ…

良かったよ  
美優…

少し休んだら  
今度は  
後ろの方も  
…

あ…





変なの——っ……



きゃん..

そう……

私が幼ない頃から  
厳格で怖かった  
父だけど

その分  
何かあった時は  
人一倍  
心配してくれて……

だから  
こんな不思議な  
関係になつても  
父を許せるのかも  
しれません……

ね…そんなに  
心配しなくても  
大丈夫だよ

今夜  
ぐっすり寝れば  
大丈夫だから  
……

そのかわり…  
明日の日曜日は  
いっぱい  
可愛がってね♡

え？

ピーチトランプ





それじゃあ  
先生……

今日も  
早苗<sup>さなえ</sup>の家庭教師  
よろしくお願  
い  
しますね



それじゃ  
早苗ちゃん  
いつもの格好に  
なって……



先生……

は……はい





フフ……

いつ見ても  
いやらしい体つきだね  
早苗ちゃん……

それじゃあ  
勉強を始めようか  
さ…イスに座って

あ…はい  
先生……

ところで  
早苗ちゃん……

ボクの考案した  
集中力が出る  
勉強法は  
どうだい？

あ……はい

先生の言ったとおり  
普段と違う裸という  
シチュエーションが  
集中力を生み出す  
みたいです……

ただ……

——ただ？  
どうしたの？  
いつもより緊張  
してるみたいだよ？

あっ……



きよ…今日は  
まだカギを  
掛けてないから……



だっ…だって  
いつもは  
ママが出ていった後  
すぐカギを  
掛けるのに……



階下から  
ママが上がって  
くるんじゃないかと  
思ってた……



ふふ……

なんだ……  
そんなコトを  
心配してたのか  
……



……いいよ……入ってきて



えっ……!!

はっ

マ…ママ…!?

ふふ……

実は  
早苗ちゃんのママも  
前々から  
ボクの授業に  
興味があった  
みたいだね

いつも  
のぞいていたんだ

でもそれだけじゃ  
満足できなくなって  
今日からは  
早苗ちゃんと同じ  
生徒になりたいって  
言ってきたのさ

せ…先生……

も…もう  
ガマンできません

も…もう  
娘の早苗の目の前でも  
構いません

私を……  
犯して下さいっ……

そ…そんな…  
ママ……

お…お願いです  
先生……

は…早く……

仕方がないなあ  
早苗ちゃんのママは  
……

それじゃあ  
ママの相手をするから  
早苗ちゃんは  
そこで自習してて  
くれる？

そんなあ……

ま……  
!! 待って下さい

さ……

早苗も  
ママと一緒に……  
犯して下さい……

フフ……

今日は  
特別に  
おでこ  
母娘そろって  
個人授業だ♡



両側から  
挟み込むように  
しながら  
上から包むように  
舐めるんだ

そうそう……

んっ……

ふっ……

ぬ

ぬ

ぬ

ぬ



ふあい……

あ……

先生……

むあ!

これで  
よろしいですか……



っあ……

んっ……

んっ……  
ふっ……

で……出るっ!!

っ……

そうそう  
もっと二人の  
唾液を  
絡め合うように  
しゃぶるんだ

そうそう

もっと二人の

唾液を

絡め合うように

しゃぶるんだ

くっ……!!

っ……!!



ん……  
娘と二人で  
顔中ザーメンまみれに  
なるなんて……

ああ……  
ママ……  
こんなに  
いっぱい……





それじゃあ  
次は本番と  
いこうか……

は……はい  
先生……



私達  
いやらしい  
母娘二人を

先生の  
それで……もっと私達に  
いやらしいことを  
教え込んで下さい



いっつ……

はあん

ひいん……

ああッ

っあ……

たっ  
たっ



素敵ですわ  
先生……!!

奥までっ……



っあ...♡

やあん.....

ああ...ママ  
そんなトコ  
舐めちゃ  
ダメえ.....

っは  
ふあ

ぬ...  
ぬ...

はああん.....

ああっ……♡

やあん……

こっ……こんな

こんな格好で  
おやこ  
母娘そろって……

はっ……  
恥ずかしいけど

気持ちいい  
ですわあ……

よーし!!

それじゃあ  
おやこ  
母娘そろって  
ザーメンまみれに  
してやるッ!!

あ  
あ

あ  
あ

あ  
あ



あ  
あ  
あ  
!!



ああ……

体中  
先生のザーメンで  
いっぱい……♡

ふふっ♡

ママ……♡

ところで先生……  
御夕食の用意を  
してありますけど  
いかが？

い……いやあ  
今日はこのへんで

そんなコト  
言わないで  
一緒に食べようよ  
パパ♡

へ？

あら……  
先生には  
まだ  
言ってなかった  
かしら……

このたび  
別居中だった夫と  
正式に  
離婚しましたの♡

でね……  
ママの再婚相手には  
誰がいい？って  
きかれたから  
先生がいいって  
言ったの♡

ねっ♡  
今なら親子セットで  
先生のモノに  
できるんだよ♡  
ねっ♡いいでしょ？

ま……まあ  
一応これも  
両手に花つてことに  
なるのかな……？

は……  
はは……

なんだか  
上手く  
まるめ込まれたような  
気もするが……

でも……これから毎日  
親子どんぶりは  
キツイな……と  
思ったりして……

これから・それから





さあて…  
帰んべ

おー高志  
どっか寄ってく?

ん?

ん?  
なんだよ  
美優……



あ…あのね…  
高ちゃんに相談が  
あるんだけど……

今日…  
高ちゃんのお家  
行っても…いい?

たぶん…



な…何を  
言い出すんだよ  
急に……

もちろんそりやあ  
キライじゃない  
けど……

あ…あの…  
それじゃあ…その…  
そのオッパイを……



女の子の  
大きなオッパイを  
いじめたいと  
思ったこと…ある？



い…いやあ…  
そりやオレも  
男だから

もんだら  
ナメたりとかは  
したいと思うけど  
……





こ…こんなの……



……!!

……!!

な…なんだってそんな格好……

おっ…おい 美優



でっ…でも  
美優の胸が  
大きくなりはじめた  
中学生のころから

なんだか高ちゃんとは  
よそよそしく  
なっちゃったし

このまま学校を卒業して  
もっと離ればなれに  
なったらもう気持ちを  
伝えるチャンス—  
なくなっちゃうし……

みっ…見て……

美優 こんなに  
いやらしいんだよ  
……

高ちゃんに  
オッパイいじめて  
ほしくてもうこんな  
なってるの……

ズルッ!!



だっ…だからね…  
高ちゃんが  
大きなオッパイの  
女の人なら誰でも  
いいんなら……

私でもいい  
かなあって…

だっってほら…  
私の胸ってあの本の  
女の人たちに  
負けないくらい  
大きいでしょ？

ちっ……



バカヤロー——

誰でも  
いいだなんて…  
そんなコトあるワケ  
ないだろ……

オレがあの手の本  
集めだしたのだっって

お前の胸が  
ふくらみ始めたころ  
からなんだぞっ!!



み…美優の  
オッパイなの…の？

じゃ…じゃあ

高ちゃんが本当に  
いじめたいのは  
……………



うそじゃ  
ねえよ……

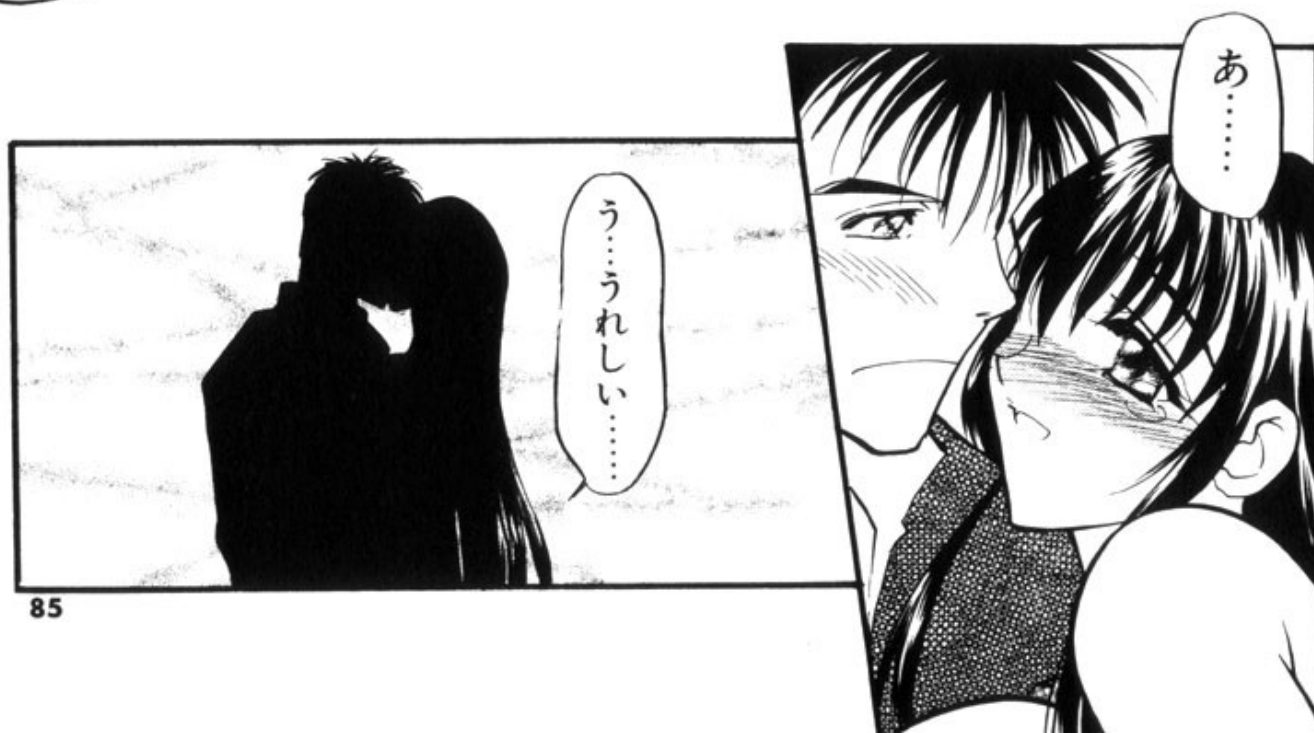
う……うそ……



ああ……

この大きくなって  
ハリがあつて

にぎりしめたく  
なるような  
いやらしいこの  
オッパイだよ



あ……

う……うれしい……

ひんっ

い…痛かったら  
言っ…ていいんだぞ

うん…

でも…

あ…

高ちゃんの  
好きなように  
いじめて…

美優のオツパイは  
もう高ちゃんの  
モノだから…

思いつきり  
好きにして  
いいの…♡





ほらほら…  
こんな牛みたいなの  
乳で恥ずかしく  
ないのか!!

もう遠慮しない  
からな……

ん……  
わかった……

あっ

ひんっ

あ……



っあ……

ち……

ちぎれちやうう  
……

ひっ……

あっ……



はあ……

はッ……  
はあ……

それじゃあ……  
そろそろいいか……  
美優……

ん……  
お願い……



!

!!



な……なあ  
美優……  
ブ……ブラジャー  
はめてもらえる……?

え……?



やああん……

ああ……  
すごくいいよ  
美優……

まるで胸の谷間に  
アソコがある  
みたいだ……♡



んっ……

フム……

それじゃ  
いくよ……  
美優……





いっ...  
ええ...

あっ...  
あ...

オッパイが...  
いじめられて...

ええ...



ほらほら...

いいのッ...

高ちゃんだから...  
いいのお...

そんなにか...  
いいのか...  
美優...

あ……

もっと  
強く……

高ちゃん……  
もっと……

もっと  
強く……

美優を  
いじめてええ……

くっ……

あ……

いっ……  
いっ……  
く……

出るッ……!!





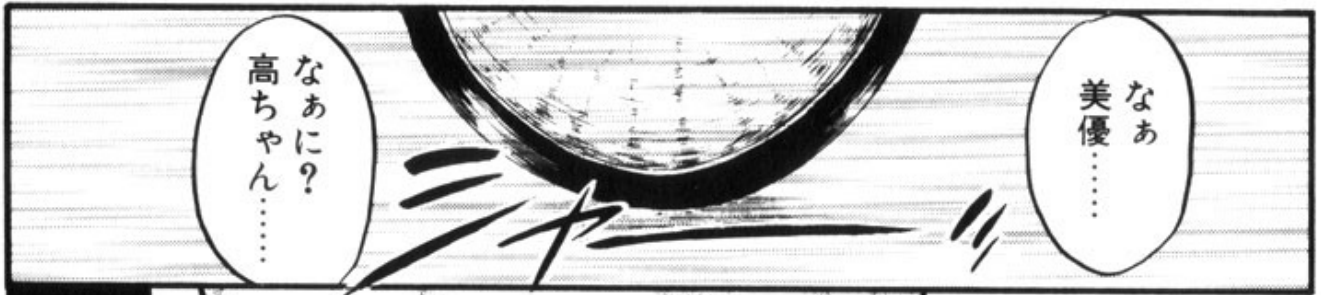
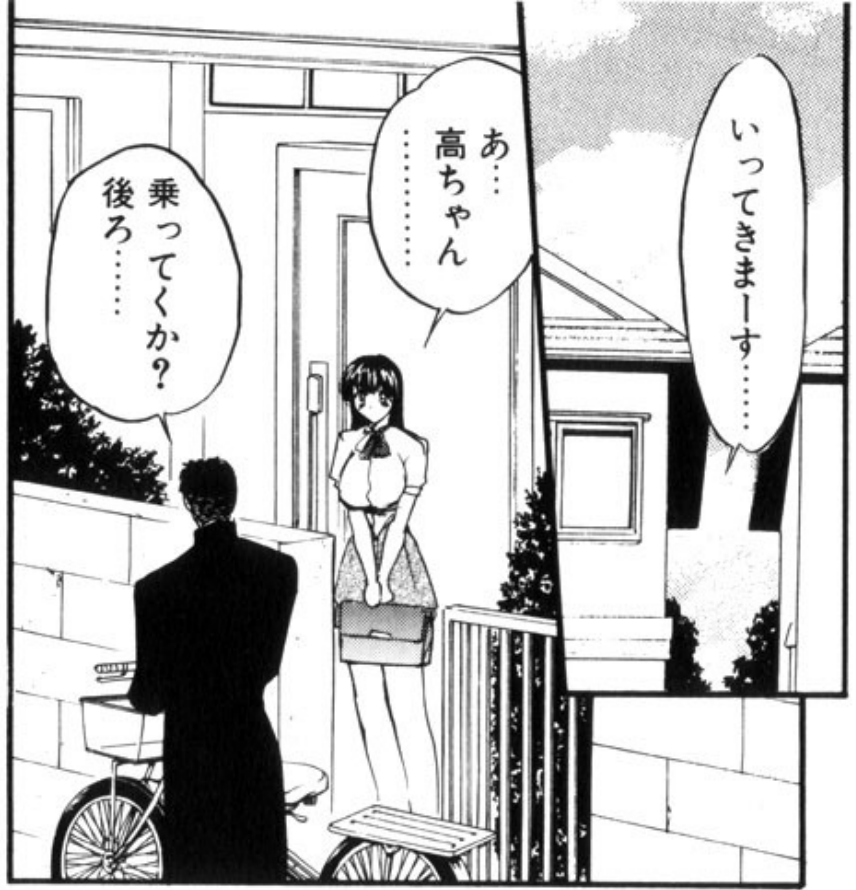
あぁっ.....♡



あは...♡

高ちゃんの  
熱いので.....

こっぴょ.....♡



※これから・それから／おわり

# 南国パラダイス

親父が再婚した  
……

いや  
その事自体は  
別にいいんだ……  
母さんが亡くなつて  
10年たつし  
それは親父の自由だ

ついでに  
妹もできた——

いや……それもいいんだ……  
連れ子自体も  
別に珍しくもないし  
むしろ可愛いくて  
うれしくらいだ……

ただ……

オレが  
問題にしたいのは  
……

ふう

カキヤ

おう!!  
帰ったか  
伸ノ介!!

ああ...

コンナ...  
恥かシデス  
ダンナ様.....

父・南国万次郎

南国ラダイス #1

アイシャ・ホボラシガ

南国伸ノ介

おお!!

お…お帰り  
なさいデス……

だ——っ  
ナデイちゃんの  
目の前で  
何やってんだよっ!!

何がって…  
家族の  
スキンシップじゃろうが

ほれ…アイシヤ♡  
伸ノ介にも  
見せつけてやろうな♡

ナデイ・ポボランガ

ああっ  
許シテ下サイ

ダンナ様……

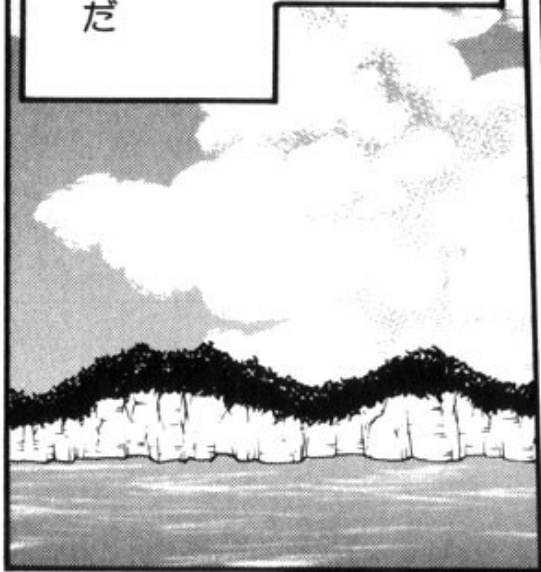
……

オレの親父は  
冒険家だ

つい  
この間まで  
世界中の  
ありとあらゆる  
秘境を駆け回っていた

その途中…  
ポポンガ島という  
島に  
たどりついた親父は

そこで  
男の理想郷を  
発見したというのだ



なにしろ  
その島の住人は  
全て女!!

自他ともに  
ドスケベの親父は  
そこで夢のような  
一時を過ごし…



その島で  
見そめた女性に  
プロポーズし  
日本に  
つれ帰つたと  
言うわけだ







ナデイちゃんもさあ  
いくら親父だからって  
そんなのは  
断わらないと  
ダメだよ!!

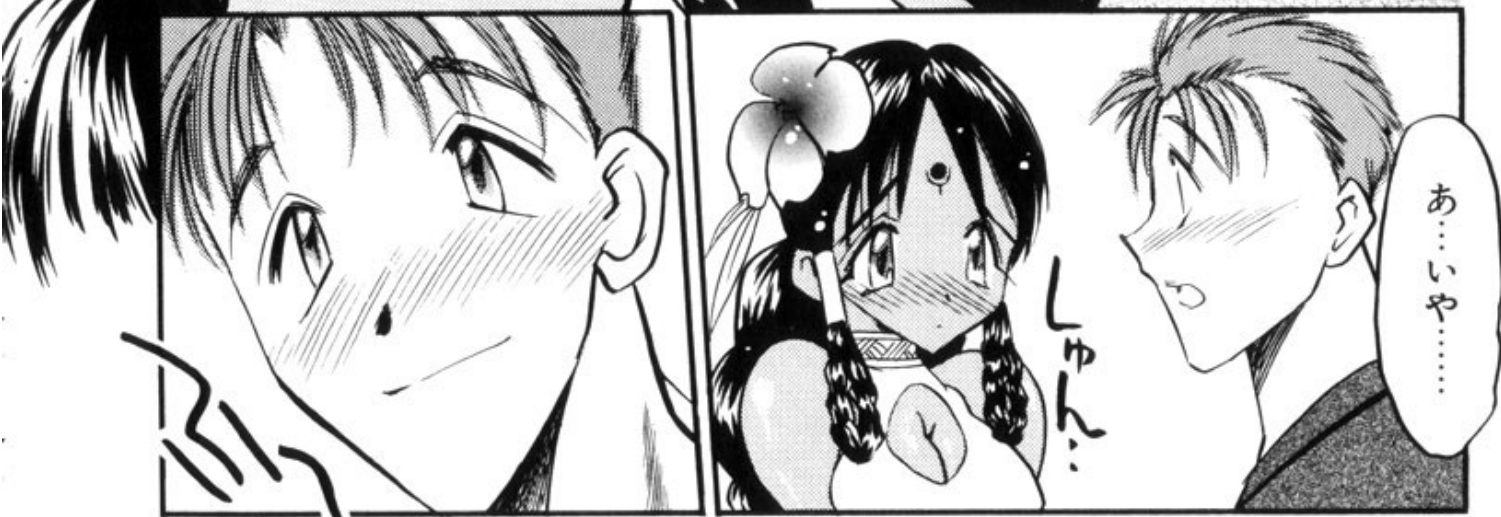
デモ…

あ…あのっ…  
モシカして  
伸ノ介さんには  
ワタシタチ  
迷惑だタデスカ?

え?



だっテ…  
伸ノ介さん  
いつも怒タリ  
不キゲンに  
ナルですカラ……



あ…いや……

オレの  
お嫁さんに  
したいくらいだよ

むしろ  
ナデイちゃんは  
可愛いし…

そうだよな…  
この娘自体は  
好きで日本に  
来たわけじゃないし

え？

もっとオレが  
かばってあげなくちゃ  
ダメだよな…

あいや…  
全然  
怒ってるわけじゃ  
ないんだ…

良カタ…

今  
何テ  
言タですか？

って…

いや  
だから  
ナデイちゃんを  
お嫁さんに  
したい…

!!

!!



ドウカ  
ナデイを  
お愛ガリ  
下サイ…♡

ヨロシク  
お願いいたします  
デス……

え

っ…

こ…これは  
一体…

あ…そうそう  
言い忘れとったがのう  
…

ナデイちゃんの  
一族は  
極端な男尊女卑  
らしくてのお

男からの命令には  
絶対服従だから  
言葉には  
気をつけろよ

オイッ!!  
そんなコト  
始めて聞いたぞっ!!

だから  
言い忘れたって  
言っとろうが

そそれじゃ  
もしかして  
親父のプロポーズって…

おう!!

気に入ったから  
ワシのモノになれるの  
一言じゃ!!

親父!!

ま…そういうわけで  
ナディちゃんは  
お前の妻になったわけじゃ

ま…一夫多妻は  
OKだそうじゃから  
気楽に可愛がって  
やるといいじゃろ

クソ親父っ!!

あ…あの…

やはり  
ご迷惑だ  
たデスか?



伸ノ介さんに  
イパイ  
ご奉仕したいデス……

あ……あの……  
ナデイは……その  
伸ノ介さんさえ  
おイヤで  
なケレバ……

その……

ナデイ……



!



ん……

伸ノ介サ……



あ…

あ…

あ…

ひあッ…

あッ…

大丈夫？

ナデイ…

痛くない？

ハ…ハイ♡

ダイジョブです



ナ…  
ナデイ…

イパイ…  
イツ…パイ  
奉仕するデス…

才料理も…  
身の回りの  
オ世話も…

ひいん…

あっ…あ…

っあ…

あっ…

それから  
夜の奉仕も  
ちやんとするんだよ

あっ…

ハ…ハイです…♡



伸ノ介さんに  
可愛がって  
もらえるヨウニ…

よ…  
夜のHな奉仕も  
頑張ッテ  
覚えるデス♡

あっ…

ひいん

ああっ…

くふう…

ああん…  
くっ…

あ♡

よーし♡  
ナデイちゃんの体を  
いっぱい開発して  
あげるからね♡

ハ…  
ハイですう…



それから：  
ナデイには  
もう一つ誓って  
ほしいんだ

？

もし…  
オレとの関係が  
イヤになったら  
ナデイの意志で  
やめてもいいんだ…

いいね？  
これは命令だよ

あ…

ぬい

ぬい

ぬん

ハイです♡

それじゃ  
いくよ…

あっ…

はっ…

ぬい

ぬい





ああっ…

イクブジャン…

フッ  
フッ

フッ  
フッ



はあ…

はあ…



え…

今の  
体に浮かび上がった  
紋様は一体  
……？



ハ…ハイです…



✧to be continued

南国パラダイス#2



ナデイちゃんと  
結婚して  
一か月――



ア：アノ  
お料理の味は  
どデスか？  
伸ノ介サン……



うん!!  
おいしいよ  
ナデイ♡

はわわ  
良かたデス



なあに…  
アイシャの  
腕前に  
くらべたら  
まだまだ…

♡



大丈夫だって!!  
ナデイの料理も  
十分おいしいよ♡

本当デスか?

あーん  
パパサンが  
いじめるデス  
~~~~~

じゃあ  
明日は  
モット頑張  
て  
おいしい料理  
つくるデス♡

そう  
わが家では  
新婚カップルが  
2組いる状態  
なのだった

そして  
オレが  
ナデイと結婚して  
(成りゆきだが)  
一か月がたった

親父が  
アイシヤさんと

習慣のちがいに  
とまどうことも  
多いもの

ナディちゃんの  
奉仕的な努力で  
うまく  
やっているのだった

お風呂が  
沸itelから  
入っタラ  
どですか？

あっ…ハイ

まあ、  
コボルちゃん  
がス…

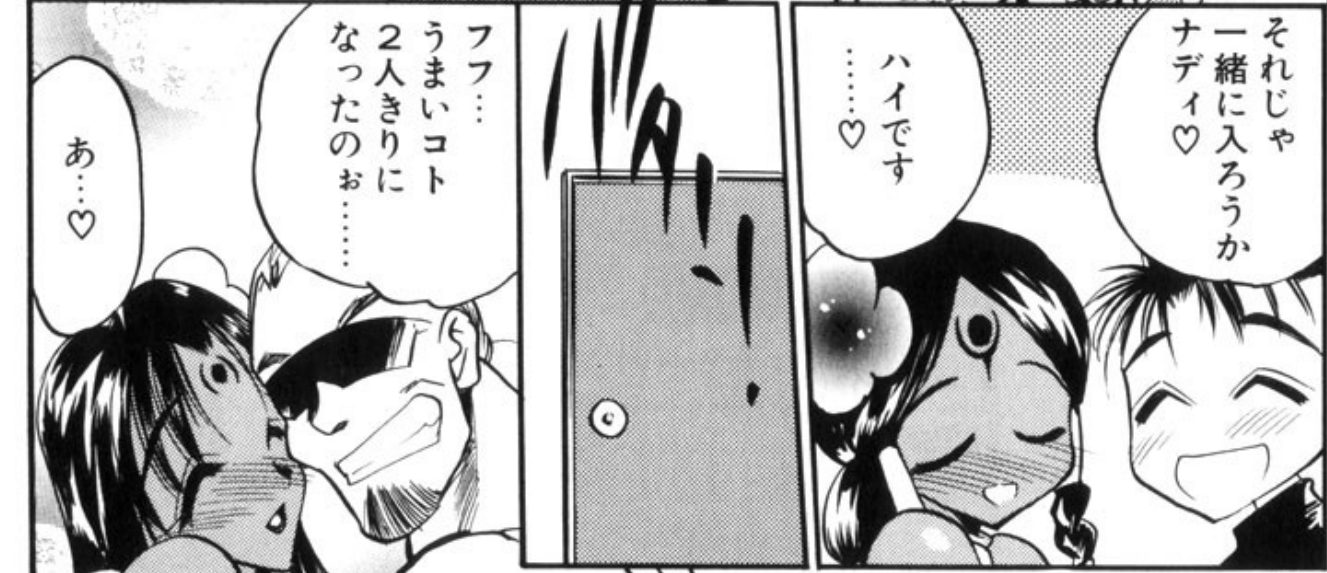


それじゃ  
一緒に入ろうか  
ナディ♡

ハイです  
♡…

フフ…  
うまいコト  
2人きりに  
なったのお…

あ…♡





ハイ…

さてと…

ナダイの  
ティンパも  
脱がさなきやね

かまよ

ティンパというのは  
ナダイが身につけている  
ふんどし形の  
下着のコトだ

ふふっ…  
ちよつと  
シミが目立つ  
ように  
なってきたね

ああっ…  
ソynaに  
じくり見ナイで  
下サイ…

ナダイちゃんの部族では  
妻は夫に  
全てをゆだねるといふ意味で  
身につけるものは全部  
夫の管理下におかれるらしい



ああっ…

御主人サマあ…

ふっふっふ…

いやらしい  
腰つきをしおって  
……

とても  
ナダイちゃんを  
産んだ  
一児の母とは  
思えんぞ♡

あ…あ  
ありがと  
ゴザイますデス

ひんっ…

ほうら…

今夜も  
大量のザーメンを  
流し込んで  
やるからのお…

ああん

うれし…  
デスう…

んっ…

んっ…

どですか？  
伸ノ介サン…



日本では  
みんなこうして  
妻が夫の体を  
洗ってあげるんだよ♡



うん♡  
だいぶ  
上手になったね



ハイです♡



さー♡  
よく奉仕してくれた  
ごほうびを  
あげなきゃね

さ♡  
ごほうびの  
おねだりを  
してごらん♡

ハイ…

伸ノ介さん…

ア…アノ  
奉仕のごほうびに  
ナ…ナデイの膣に

伸ノ介サンの  
ザ…ザーメンを  
注ぎ込んデ  
下サイ♡

よし♡  
よく言えたね

日本の夫婦は  
みーんな  
こうしているんだよ♡

ホ…本当  
デスカ？

もちろん♡

夫を  
疑うような妻は  
オシオキだぞ

ああんっ  
ゴメなさいですうっ





従順で  
おとなしくて  
控え目なのに

こんなに  
Hな体を  
してるんだから♡

あや…

そ…そシナ…

あっ…

ひゃあ…



ほうら…

どんな体位も  
思うがままだ♡

恥かし  
デス…

コシナ

あ…

んっ…ほら  
飲んで♡

ちやんと  
味わってね♡

と…とテモ

おいシ…デス

は…  
はいデス♡

ああっ…

じゃあ  
次はコツチに  
飲ませてあげるね♡

んっ…

っや…

あ…

あっ…

コンナ…

激シ…

ああっ…  
御主人様あ…

ふふ…

今日も  
足腰立たなくなるまで  
ハメまくって  
やるからのお

ああん♡

あっ…ひ…

あ…



いいんだよ  
気にしないで  
イキながらの  
おもらし見せて♡

あ…  
ダッテ…

どうしたの？  
また  
いつもみたいに  
おもらし  
しちゃいそう？

は…はいデス…

あ…  
ひゃん…

そう…  
実はナディちゃんの  
一族では  
男性の言葉には絶対服従…  
断わるコトは  
できないのだった

好きだよ  
ナディ…♡  
あっ♡

デモ…やはり  
恥カシ…  
あっ…  
あんっ…

あんっ…  
あっ…



あ...あ...

やあやあ...





南国パラダイス #3



冒険家の  
父の再婚相手の  
娘としてやってきた  
ナディ——



そして計らずも  
ナディを妻として  
めとつてしまった  
伸ノ介



こうして始まった  
2人の新婚生活  
なのです

一途なナディは  
伸ノ介を追って  
同じ学園へ——

そう……実は  
彼女は奇妙な風習のある  
南の島の住人だったので





ナディちゃんだよ  
ナディちゃん!!

学生結婚だが  
なんだか  
知らないが…

あのナディちゃんの体を  
毎日毎晩  
なぶり回しとるんだ  
ろーが!!

え?

そーだ  
そーだ!!  
そうにちがいない!!

オイオイ…  
そんなに  
興奮すんなって…

そっ…

転入初日から  
ナディちゃんは  
野郎どもの心を  
わしづかみに  
してしまつたのだつた

なにしろ  
性格が良く

素直で  
頭も良く

純情な  
ナディちゃんが  
人気が出るのも  
当然といえば当然だつた



まもつすでに  
カッブルとして公認なんで  
悪い虫はつかなくて  
いいんだけどね

はっ…!!

今…なにを  
想像してた  
キサマっ!!

いや…  
なんも♡

!

ん?

そーいや  
ナデイちゃん  
さっきから  
息が荒いような  
…

どうしたんだろ?  
顔も赤いみたいだし  
…

はあ…

はっ

ああ…アレね  
大丈夫  
大丈夫  
大丈夫♡

?



伸ノ介サン♡

あっ…

ナデイ♡

よっ



もうすっかり  
学校には  
慣れたみたいだね

ハイです♡



皆サン  
やさしくシテ  
くださるデスから





こ…この結び目が  
走ルたび  
食い込ンデ…

うっわ…

確かに  
すごいコトに  
なってるね♡

あ…あの…  
この結び目は  
ドシテモしなくちや  
ダメデスカ？

もちろん♡

ここの  
結び目は



日本古来のしきたりで  
夫婦の結びつきを  
表している

どうしても  
やらなくちゃ  
いけないコト  
だからね

あぁっ  
引っ張っちゃ  
だめデスう〜…

あっ…  
あっ…

そうか…  
この結び目のせいで  
顔が赤かったんだね♡

ダ…ダッテ  
走ルたびに  
結び目が恥カシ所に  
当たっテ…

な…何度も  
しがみ込みソウに  
なったデス



じゃあ  
もう次回からは  
この結び目は  
ナシでも：

口から  
出まかせだし：

デモ：

ナデイが  
伸ノ介さんの  
本当のお嫁さんに  
なるとためデスカラ：

ナデイ：  
頑張るデス♡



あーもー  
可愛いったら！！

あんっ：



よーし  
さっそく今  
可愛がっちゃうる！！

ああん♡



いいんだよ  
どんどんHになっても  
……

これから  
どんどん仕込んで  
あげるからね♡

あっ……ああっ……

はっ……

はいデスう……

大好きだよ  
ナデイ……♡

ああん……♡

うれシデスう……





でも  
ナデイくらい  
可愛いと心配だな  
……

なにせ……ほら

ナデイは  
男に命令されると  
拒めないからな

**ぬ**

そう  
ナデイちゃんの一族は  
男性の言葉には  
絶対服従……  
逆らうことは  
できないのだった



んっ……

ふっ

**ぬ**

ふっ……



**ぬ**



ダイジョブ  
デス……

伸ノ介サン……

んっ



あっ……

**ぬ**

ナデイの  
身も心も  
伸ノ介サンの  
モノですカラ…

伸ノ介サン  
以外の男性の…

命令や  
お願いの時は  
耳を  
ふさぐデス



ナデイ…



あ…  
あ…

あ…

ひゃ…





臆に...

あっ...

んう...

うっ...

臆に出すからね  
ナデイ...

あっ...

は...はいデス...

ナデイの臆に...

伸ノ介サンのを...  
クダ...サイツ...

んっ...



うっ...  
ぐっ...

...うっ

クッ

クッ



ああっ…

とろろ

コノままじゃ  
あふれちゃう  
デスう〜

大丈夫だよ  
それくらい…

心配なら  
そのままブルマを  
履いて授業に  
出ればいいから

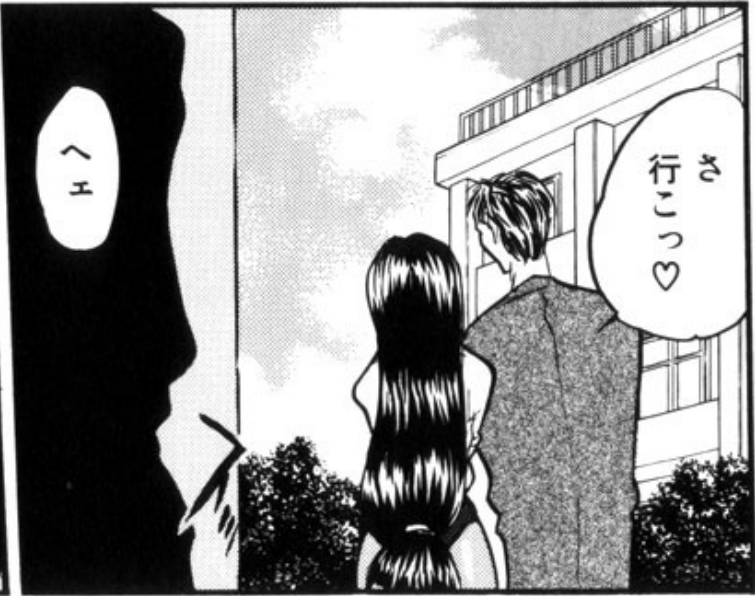
ねっ？

ははいデス  
…♡



本当なんだ

男の命令には  
絶対服従…って



へエ

さ  
行こっ♡



ん?  
どしたの?

あうう…  
やっぱりタレて  
きてるデス…

フン!



コイツは  
いや…

くっくっく…



…  
あの男…  
使えるな…



南国パラダイス #4





ナデイちゃんの  
秘密をね...♡

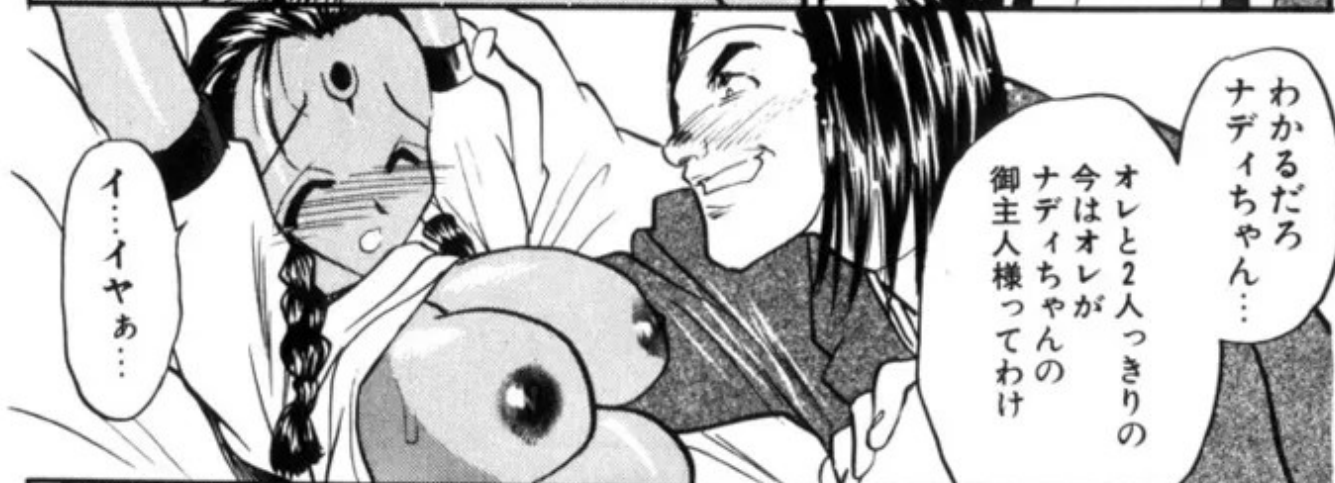
オレは知ってるんだぜ...



やれるもんなら  
やってみな...

何スるデスカ!!  
人を呼ぶデスヨ!!

へへ...





駄…目エ…

は…ッ

イヤあ…

許シテ…

はっ…あ

あくっ…

オイオイ…  
暴れるなよ

せっかく  
入れたのに  
抜けちまう  
だろ

新しい  
御主人様を  
喜んで受け入れろよ

ひあ…

おおっ…

こいつはいいや♡

ナデイちゃんは  
根っからの  
奴隷体質なのかな

ほらほら…  
こういうのが  
いいんだろ

伸ノ介サ…ン

ああッ…

はっ…

くっ

はッ…

絶頂たいんだろ  
ほら…ほら…  
素直になれよ…

ははッ…

いいぞ…

ひっ…

あ…

イ…ヤあ…

イヤ…あ

コンナ…  
イヤあ…

こらこら  
そんなに  
暴れるなよ  
ナダイちゃん…♡

今から  
このローターを使って  
もっと  
気持ちよく  
してやるからなっ

やあ…

うあ…  
ひっ…

ああ…ッ

ひっ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…



へへ…  
尻に入れた  
ローターの振動が  
たまらねえな…

ひぐあ…

ああっ…  
許シテ…

コンナノ…  
駄…目え…

あ

くっ…

あ…あああ…

ひいあ…

ほら…オレからの  
命令だ…  
絶頂てみせろよ!!

喜んで  
新しい御主人様の  
ザーメンを  
受けてみせろ!!







無理矢理  
やっというて  
なにが  
オレのモノだ

なっ…  
なっ

てめえく〜…  
顔の形を  
変えたいらしいな

え？  
え？

大丈夫…  
ナデイちゃん…

は…はいデス  
…

それに…  
わかりましたデス  
から…

コノ人は  
アヤつられテる  
だけデス…

本当に  
悪いのは…



フッ…  
バレたか…

キヤテイ姉サマ!!



ドして  
コンナこと  
スルですか!!

お姉サマ!!

ナデイちゃん  
こ…これは…

フン!

この男の人は  
お姉サマに  
アヤツラレテたデス

ナデイ…  
それはね  
アンタの目を  
覚まさせるタメよ

フン!!

どっ…どうゆう  
コトデスかっ

フン!!  
一族の掟だからって  
男の言葉に従うなんて  
ナンセンス  
だってコトさ

だいたい…  
生まれて初めての  
プロポーズだからって  
そんなに簡単に  
一生の相手を  
決めていいのかい?

どうなんだい?

それでも  
自分の選択は  
間違ってたって  
言えるのかい?

ぐっ





あ…あんだねエ…  
そんな  
簡単に…

なっ…



ニコッ

ハイ

モチロन्दス♡



あら…  
お姉サマ…  
ゴ存ジナイノ  
デスカ?



女の子は…  
どうあつたつて  
運命ノ人に  
出会っっちゃうデス

私にトツテ…  
伸ノ介サンが  
運命ノ人だったデス♡





# あしがき

あ、どうも、あうら聖也です。  
今回のコミックスは実はOVAと  
連動してまして、同名の  
『学園利あし』というアニメの  
原形となる話が収録されて  
います。とはいうものの、実は  
この作品自体が前作のモビル  
(け、こう直しました) 楽しんで  
いただけたら幸いです。

では、この本に反響されてくれた  
全体的な方々とあうらに感謝x2  
の...

あうら  
聖也  
でしたっ!



晋遊舎コミックス

# 学園まりあ

©SEIJI AURA

---

平成14年 8月1日 初版発行

(検印廃止)

著者 あうら聖児

発行者 立野 喜久

編集  
発行 (株)晋遊舎

発行所 〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-102  
早稲田関口ビル  
TEL03(3203)5321(代)

製版 暁印刷

印刷 暁印刷

---

本誌の無断転載・上映・上演・放送を禁止します。  
乱丁・落丁本は本社にてお取り替えいたします。  
定価は表紙カバーに表示してあります。

Printed in Japan  
ISBN4-88380-275-2 C9979

SHIN  
YU  
SHA



学園まりあ

あつら聖児

成年  
コミック

晋遊舎

学園まりあ

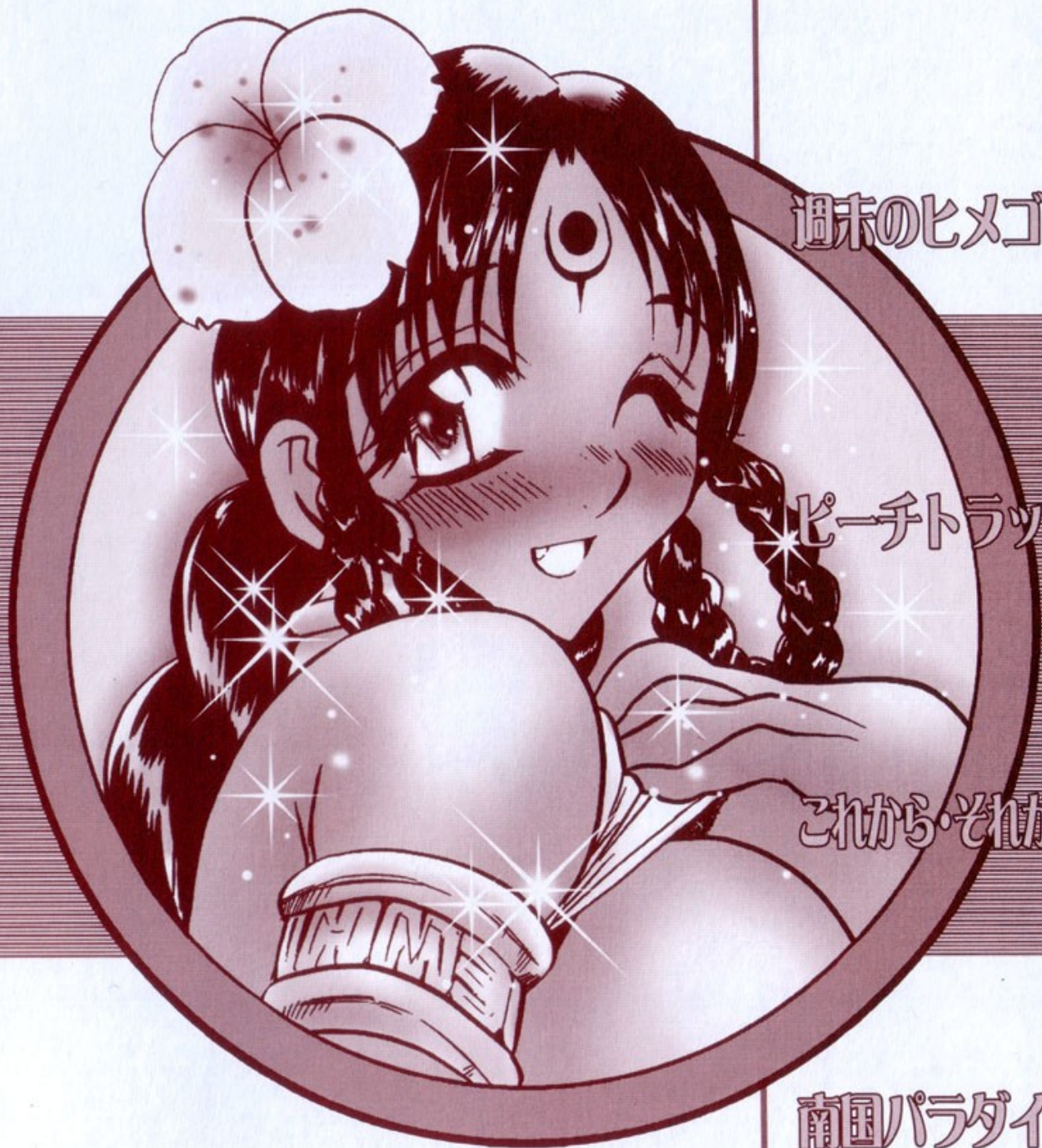
夏のアティテュード

週末のヒメゴト

ピーチトラップ

これから・それから

南国パラダイス



# MARIA Academy



illustration:あうら聖児 cover design:フジタマサ江。

SHIN  
YU  
SHA



学園まりあ

あうら聖児

成年  
コミック

晋遊舎



9784883802753



1929979008574

ISBN4-88380-275-2

C9979 ¥857E

雑誌44350-55

晋遊舎

定価900円 本体857円

学園まりあ

夏のアティテュード

週末のヒメゴト

ピーチトランプ

これから・それから

南国パラダイス

